

しょうがい 障害のあるなしにかかわらず くひのめざ 暮らしやすい日野を目指して



令和2年(2020年)12月発行

もくじ

「日野市障害者差別解消推進条例」を知っていますか？	2・3
視覚障害者 菊地さん的一天	4・5
地域活動日記	6・7
参加した団体を代表して	8

「日野市障害者差別解消推進条例」 を知っていますか？

令和2年4月1日から日野市障害者差別解消推進条例がスタートしています。この条例は、障害や障害のある人に対する理解不足から生じる誤解や偏見をなくし、障害のある人もない人もお互いにその人らしさを認め合い、支え合いながら、誰もが安心して暮らせる共生社会「ともに生きるまち 日野」の実現を、市民の皆さまや事業者の方々と一緒に目指しています！

1 不当な差別的取り扱いの禁止

障害のある人に対して、正当な理由なく、障害を理由として、サービスの提供を拒否したり、サービスの提供の場所や時間帯を制限するなど障害のない人にはつけない条件をつけたりすることを禁止しています。

2 合理的配慮の提供

事業者は、障害のある人から手助けや必要な配慮について意思が伝えられたとき、負担が重すぎない範囲で、合理的配慮の提供を行わなければいけません。障害者差別解消法において、事業者の合理的配慮の提供は努力義務ですが、この条例では、差別解消の取り組みを一層進めるため、義務としています。

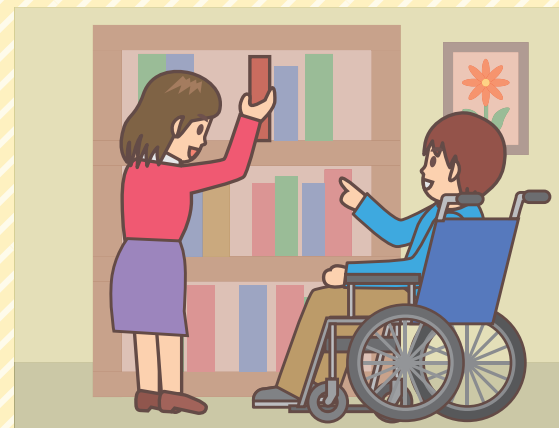
3 差別に関する相談体制と解決するための仕組み

相談窓口を設置し、差別に関する事案が起こった際の解決のための仕組みをつくりました。差別を受けたもしくは受けたと感じた場合、下記の窓口にご相談ください。

相 談 窓 口	連絡先（電話・ファクス）
日野市障害福祉課（神明）	☎514-8991 FAX 583-0294
エール（日野市発達・教育支援センター）（旭が丘）	☎589-8877 FAX 514-8740
NPO法人 自立生活センター日野（高幡）	☎594-7401 FAX 594-7402
地域生活支援センター ゆうき（高幡）	☎591-6321 FAX 599-7203
特定指定相談事業所 やまばと（旭が丘）	☎582-3400 FAX 582-3302

合理的配慮ってなんですか？

合理的配慮とは、障害のある人が社会に存在するさまざまなバリア（障壁）に直面した時に、その権利や利益を侵害することとならないよう、個々の状況に応じて解決を図るための調整を行うことです。



コロナ禍での困りごと

私たちの日常生活における何気ない行動であったとしても、障害のある人にとってはさまざまな場面において困難となっています。

● 視覚障害のある人

お店で欲しい商品は見つけたけど、レジで並ぶことは苦手だな。ソーシャルディスタンス。みんなどこに並んでいるんだろう。

レジの前で並ぶとき、お店の人に「前の方とどのくらい距離があるか分かりません」と伝えたら、順番になったときに声を掛けてくれたよ。落ち着いて会計をすることができたね。

● 聴覚障害のある人

マスクで相手の口の動きや表情が分かりづらいな…。コンビニの店員さん今なんて言ったんだろう。マスク外してとも言えないし。

「指さし」で合図をくれたよ！有料のレジ袋が必要かどうか聞いていたんだね。筆談ボードでも伝えてくれたからよく分かったよ。

● 知的障害のある人

外出するときはずっと、ヘルパーさん（支援者）の付き添いが必要だけど、このお医者さんは来院は一人まで。一人で不安だな。

院内の付き添いをお願いしたら、病院のスタッフさんが付き添って優しい言葉でお話ししてくれたよ。付き添ってもらえると安心だね。

上記事例はあくまで一例です。困っている人に声を掛け、調整をすることで困難を解決することができます。

視覚障害者 菊地さんの一日

菊地美由紀です。3歳の終わりに小児がんで視力を失いました。普段は2歳の娘を育てながら、東京光の家の職員として、利用者さんの就労・相談支援や、見えない暮らしの工夫などを伝える出前授業などの仕事をしています。休みの日には、Zoom女子会を開いたり、大学時代の友達やママ友と映画や温泉、テーマパークやライブなどに掛けます！



起床

光は感じないけど、音で起きます

7:00

朝の支度



どれを着ようかな？色や絵柄は触り心地で覚えています。

10:00

パソコンで仕事



画面を読み上げる音声ソフトを使えばWordやExcelも使えます！

8:00

買い物



最後尾を探すのって難しい…



ソーシャルディスタンスを取りながら並ぶのが難しい…

14:00

点字教室

地域の皆さんに点字を教えることも！



20:00

テレビ鑑賞



アニメやドラマが大好き！セリフやBGMで大体のストーリーも分かります。

18:00

夕飯づくり



小さいころから練習したから、包丁だってお手のもの！

19:00

子どもとお絵かき



描いた線が浮き上がる紙と下敷きで、娘とお絵かき！

おやすみなさい

就寝

地域活動日記

わたし ち いき かつ どう につ き
私たちが地域で活動する姿をご紹介します！

※この日記は活動に参加した方の声です

7月 障害福祉事業所

およそ14万枚のマスクを市内の福祉施設に配布するため、仕分けの作業を行いました。マスクの箱が破損していないか、利用する皆さんに安心して使ってもらえるように気持ちを込めて確認しました。



7月 夢が丘小学校

障害のある人にとって優しい学校は、皆にとって優しい学校。車いすなどを体験することで、日ごろ気付かない段差に気付き、学校をもっと良くしたい気持ちが強くなりました。



8月 平山小学校

お掃除をすることも楽しいですが、児童の皆さんや先生方に声を掛けてもらえることがとてもうれしいです。楽しい学校生活が送れるようにきれいに消毒していきます。頑張ります。



7月 あさひがおか児童館

感染症予防のため、子どもたちが日常で手に触れるおもちゃなどを児童館の職員さんとワークシェアして消毒しています。児童館では安心して仲良く遊んでくださいね。



8月 旭が丘東地区センター

臨時閉鎖されていた地区センターの再開に当たり、日ごろの施設内清掃の経験を生かしてドアノブや照明のスイッチなどを一つひとつ丁寧に消毒清掃をしました。地域の方々が安心して利用できるとうれしいです。



9月 日野第四中学校

学校の図書室にある本の消毒をしています。生徒の皆さんに気持ちよく本を読んでもらえるよう一生懸命清掃もしました。いつか図書委員の生徒さんたちと一緒に活動ができたらいいな。



10月 カワセミハウス

緑と清流に囲まれたカワセミハウス。時折、歩道を行き交う人たちとあいさつを交わしながら、一生懸命お掃除で汗を流しています。みんなが喜んで遊びにきてもらえるといいな。



10月 日野第六小学校

用務員さんと楽しく会話をしながら「おたまたま池」や植栽の手入れをしました。校長先生は事業所スタッフの恩師！お世話になっている地域でみんなで感謝の気持ちを持って取り組んでいきたいです。



11月 日野第七小学校

頑張って作った刺しゅうを児童の皆さんに見てもらえてすごくうれしかったです。一生懸命描いた魚も展示してもらえました。もっとたくさん絵を描いて、また皆さんに見てもらいたいです。



10月 セツ塚ファーマーズセンター周辺

日野レッドドルフィンの選手の皆さんと地域清掃をしました。どんな小さなゴミも決して見逃さない姿に選手たちから「すごいね！」の一言。お互い笑顔で作業を続けることができました。



11月 旭が丘小学校

すぐ近くの小学校の展覧会に、私の陶芸作品が展示され、同じ地域で過ごす児童の皆さんや保護者の方々に見ていただきとてもうれしかったです。次はもっと良い作品ができるように頑張ります！



障害福祉事業所を代表して 夢ふうせん 浅野 大輔

障害のある人が各事業所から外に出て活動しています。もともとはコロナ禍で仕事の受注機会が減る中、市内小中学校を中心に事業活動を始めたことがきっかけでした。

しかし今は自分たちが過ごす身近な地域に貢献し、そこで出会えた地域の方々と会話や交流できること自体に充実感を感じる毎日です。

今、私たちが持てる力を存分に発揮して地域の皆さんと一緒に活動を続けていきたいです。



よんちゅう しょくさい かつどう さん か だん たい だいひょう 四中の植栽活動に参加した団体を代表して

(社福)夢ふうせん

副施設長 笠原 浩昭

私たち夢ふうせんの職員と利用者が、日野第四中学校で活動しています。利用者の皆さんは、当初こそ普段とは違う場所でのお仕事に緊張していた様子もありましたが、学校の先生や生徒さん、地域の方々との会話を楽しみながら、自分たちが持てる力を発揮して頑張っています。お会いする機会があればぜひ声を掛けてください。

日野第四中学校

校長 中村 宏

夢ふうせんの皆さんが毎週整備してくださり、どんどん綺麗になって、花いっぱいの花壇を立ち止まって見る生徒が増えました。生徒の学びの場の中に社会活動が自然な形で溶け込んできたことを、とてもうれしく思っています。これからさらに活動の場を広げていただき、交流を深めていきたいです。

日野第四中学校

ガーデニングサークル 佐野 礼子

日野第四中学校に「花壇をつくろう！」という活動を19年前に始め、年月を重ねてまいりました。そして今年、新たな1ページを夢ふうせんの皆さまと開けたことは本当にうれしく幸せなことでした。互いに理解し合い、同じ目的を持って活動する。そんな楽しく温かい活動が日野市いっばいに広がっていくことを願っています。

(公財)日野市環境緑化協会

事務局長 坂田 勉

福祉と教育そして緑化の各部門がともに連携して地域活動を行うことは素晴らしいことです。これまでも当協会の活動では、市内の福祉施設に公園清掃のボランティアとして参加いただき、企業に属する障害のある方々に、花壇に植える花の一部を一生懸命育てていただきました。これからも地域とともに活動していきましょう！

日野第四中学校の校門から続く花壇。活動当日は前夜の雨がやみ、秋晴れとなった一日。(公財)日野市環境緑化協会のご協力のもと、ビオラやパンジーといった色とりどりのお花をいただき花壇に植え付けました。およそ1カ月も前から地域の方々や雑草や小石を取り除き、ともに汗をかきながら今日の日を迎えることができました。

毎日住み慣れた地域でお互いが当たり前のように暮らしている一方、ともに活動し、ともに会話をする機会がこれまでほぼありませんでした。今、子どもたちの学びの場である学校を通じて、障害のある人と地域がお互いを尊重し活動を始めています。

もう一つの地域貢献

「地域で活動し、地域へ貢献したい」日野レッドドルフィンズと障害のある方々の思いが一つになり、市内各所で地域清掃を行っています。街なかで見かけたらぜひ声を掛けてください！

